



Sun N1 System Manager 1.3.1 ご 使用にあたって



Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054
U.S.A.

Part No: 819-7330-10
2006 年 7 月

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。フォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

U.S. Government Rights Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本製品に含まれる HG-MinchoL、HG-MinchoL-Sun、HG-PMinchoL-Sun、HG-GothicB、HG-GothicB-Sun、および HG-PGothicB-Sun は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。HeiseiMin-W3H は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、Sun Microsystems、Solaris のロゴマーク、Java Coffee Cup のロゴマーク、docs.sun.com、N1、Sun Fire、Sun Blade、および Java は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標、登録商標もしくは、サービスマークです。

サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。Netscape Navigator および Mozilla は、米国およびその他の国における Netscape Communications Corporation の商標および登録商標です。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

Wnn は、京都大学、株式会社アステック、オムロン株式会社に共同開発されたソフトウェアです。

Wnn6 は、オムロン株式会社、オムロンソフトウェア株式会社に共同開発されたソフトウェアです。Copyright OMRON Co., Ltd. 1995-2000. All Rights Reserved. © Copyright OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1995-2002 All Rights Reserved. ©

「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「ATOK Server/ATOK12」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK Server/ATOK12」にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

「ATOK Server/ATOK12」に含まれる郵便番号辞書 (7 桁/5 桁) は日本郵政公社が公開したデータを元に制作された物です (一部データの加工を行っています)。

「ATOK Server/ATOK12」に含まれるフェイスマーク辞書は、株式会社ビレッジセンターの許諾のもと、同社が発行する『インターネット・パソコン通信フェイスマークガイド』に添付のものを使用しています。

Unicode は、Unicode, Inc. の商標です。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは、OPENLOOK のグラフィカル・ユーザインタフェースを実装するか、またはその他の方法で米国 Sun Microsystems 社との書面によるライセンス契約を遵守する、米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われたいものとします。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Sun N1 System Manager 1.3.1 Release Notes

Part No: 819-6532-10

目次

はじめに	7
1 Sun N1 System Manager 1.3.1 の問題点	11
N1 System Manager 1.3.1 の新機能	11
機能およびソフトウェアのサポートについて	12
変更されたマニュアル	12
Sun N1 System Manager 1.3 マニュアルコレクションの問題点	12
『Sun N1 System Manager 1.3 サイト計画の手引き』の問題点	12
『Sun N1 System Manager 1.3 検出および管理マニュアル』の問題点	13
『Sun N1 System Manager 1.3 インストールおよび構成ガイド』の問題点	13
コマンド行ヘルプに関する問題点	13
Grid Engine のモジュール名の間違い	13
N1 System Manager のインストールと設定に関する問題点	14
バックアップと復元のあとに N1 System Manager が自動的に再起動しない (6444305)	14
インストールと設定のあとに n1sh シェルを実行できないことがある (6443655)	14
N1 System Manager のアンインストール後に Java Web Console が削除される (6433383)	15
N1 System Manager を停止すると Java Web Console が停止する (6432305)	15
インストールを取り消すと、ユーザーインタフェースのコンポーネントがインストール されない (6430787)	15
Solaris x86 の管理サーバーの再起動後に N1 System Manager のデータベースが起動しな い (6398263)	15
N1 System Manager のインストールに失敗する (6284696)	16
OS プロビジョニングに関する問題点	18
OS プロファイルに製品キーがない場合に Windows OS の配備に失敗する (6449265)	18
DHCP オプションを使用した Red Hat OS の配備で DHCP 範囲から IP アドレスが割り 当てられない (6449051)	18
ACPI が有効になっている場合に Sun Blade X8400 サーバーへの Red Hat OS の配備に失	

敗する (6442992)	19
nfs オプションを指定した場合、Sun Blade X8400 サーバーへの SUSE Linux Enterprise Server 9 SP3、64 ビット OS の配備に失敗する (6438194)	19
拡張モジュールを使用して Sun Blade X8400 サーバーに Red Hat OS をプロビジョニングしたあとに管理対象サーバーが完全に再起動されない (6437482)	20
Windows の配備時に手動ネットブートを指定すると dhcpd.conf ファイルにエントリが作成されない (6432047)	20
Sun Fire X2100 サーバーへの SUSE Linux Enterprise Server 9 SP3、64 ビット OS の配備に失敗する (6416190)	21
ジョブまたはジョブステップのタイムアウト値を経過したときに OS 配備に空白のエラーメッセージが表示される (6405994)	21
RIS のホストキーがないため、Windows OS ディストリビューションの作成に失敗する (6392700)	22
DHCP を使用して Windows OS を配備するときにプロビジョニング IP アドレスが正しく割り当てられない (6381141)	22
Sun Fire X4500 サーバーへの Solaris 10 Update 2 OS の配備にプロファイルが必要である (6379990)	23
Windows の OS プロファイルにタイムゾーン属性と言語属性のデフォルト値がない (6374740)	23
bootpath 属性に bge1 デバイスパスを指定すると新しい Sun Fire V20z サーバーへの OS の配備に失敗する (6346563)	24
BIOS コンソールのボーレートを設定すると、Sun Fire V20z および V40z サーバーへの OS の配備に失敗する (6322295)	24
Grid Engine アプリケーションがあるサーバーへの OS プロファイルのインストールに失敗する (6406020)	24
インタフェースに関する問題	25
N1 System Manager のブラウザインタフェースに、Sun Fire X4500 サーバー用の正しい画像アイコンがない (6441192)	25
オンラインヘルプの印刷機能が機能しないことがある (6440149、6436572)	25
N1 System Manager の Express モジュールの命名法が Sun Blade X8400 サーバーモジュールの CLI と一致しない (6432413)	25
remove group コマンドの正常終了後にエラーメッセージが表示される (6404420)	25
500 を超えるサーバーを表示しようとするとブラウザインタフェースにスクリプトの問題が表示される (6365731)	26
ファームウェアレベルが 6464 の Sun Fire X4100 サーバーと Sun Fire X4200 サーバーについて表示されるスワップ情報が間違っている (6344709)	26
ブラウザインタフェースを使用してジョブを停止しても、コマンド行区画に停止のメッセージが表示されない (6344094)	27
ファームウェア更新に関する問題点	27
Sun Fire X4100/X4200/X4600 の各プラットフォームのファームウェアを更新する前にスクリプトを実行する	27

N1 System Manager で、T1000/T2000 の各プラットフォームのシステムファームウェアバージョンが表示されない (6443502)	28
ALOM ベースのサーバーでファームウェアの更新に失敗したときに不適切なエラーメッセージが表示される (6330195)	28
N1 System Manager で、互換性のないファームウェアをデュアルコアの Sun Fire V20z または Sun Fire V40z サーバーへ配備できる (6296404)	28
監視に関する問題点	29
OS 監視のしきい値違反が送信されない (6433480)	29
キューにあって、実行中でないジョブが、「ジョブの詳細」で「未開始」と表示される (6318398)	29
ジョブの完了後も、ジョブの実行中を表す時計アイコンが残る (6258571)	29
Grid Engine モジュールに関する問題点	30
Grid Engine のマスターが 2 つある場合に、マスターを N1 System Manager からアンロードできない (6423617)	30
Grid Engine モジュールのジョブの種類が表示されない (6375965)	31
Grid Engine 権限を持つスーパーユーザー以外のユーザーが Grid Engine アプリケーションを作成または削除できない (6407102)	31
国際化の問題	32
各 OS プロファイルの言語属性の説明がない (6426098)	32
一部のロケールで n1sh コマンドの実行に失敗する (6402666)	38
OS 選択画面のディレクトリ名と RIS サーバーの言語が異なる場合に Windows OS を配備できない (6400419)	38
Solaris 管理サーバーで n1sh コマンドに対して国際化機能がサポートされない (6297808)	39
ASCII 以外の文字を含むファームウェア名を持つ ALOM ファームウェアをインストールできない (6297238)	39
N1 System Manager が UTF-8 以外のロケールで動作している場合、ASCII 以外の文字を含むオブジェクトで文字が正しく表示されない (6231209)	39
一部のインストール言語で Solaris 10 OS の配備中にタイムアウトが発生する (6178721)	40

はじめに

『Sun N1 System Manager 1.3.1 ご使用にあたって』には、N1 System Manager ソフトウェアに固有の情報と問題の詳細を示します。

対象読者

本書は、N1 System Manager ソフトウェアおよびハードウェアのインストールまたはアップグレードを担当しているシステム管理者、および N1 System Manager のユーザーを対象としています。

関連マニュアル

- 『Sun N1 System Manager 1.3.1 の新機能』
- 『Sun N1 System Manager 1.3.1 Troubleshooting Guide』
- 『Sun N1 System Manager 1.3 の概要』
- 『Sun N1 System Manager 1.3 サイト計画の手引き』
- 『Sun N1 System Manager 1.3 インストールおよび構成ガイド』
- 『Sun N1 System Manager 1.3 検出および管理マニュアル』
- 『Sun N1 System Manager 1.3 オペレーティングシステムプロビジョニングガイド』
- 『Sun N1 System Manager 1.3 Grid Engine プロビジョニングおよび監視マニュアル』
- 『Sun N1 System Manager 1.3 コマンド行リファレンスマニュアル』
- ハードウェアマニュアル <http://www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs/>

マニュアル、サポート、およびトレーニング

Sun の Web サイトでは、以下の追加情報を提供しています。

- マニュアル (<http://jp.sun.com/documentation/>)
- サポート (<http://jp.sun.com/support/>)
- トレーニング (<http://jp.sun.com/training/>)

表記上の規則

このマニュアルでは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用します。

表 P-1 表記上の規則

字体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例を示します。	.login ファイルを編集します。 ls -a を使用してすべてのファイルを表示します。 machine_name% you have mail.
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して示します。	machine_name% su Password:
AaBbCc123	変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、rm filename と入力します。
『 』	参照する書名を示します。	『コードマネージャ・ユーザーズガイド』を参照してください。
「 」	参照する章、節、ボタンやメニュー名、強調する単語を示します。	第 5 章「衝突の回避」を参照してください。 この操作ができるのは、「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	sun% grep '^#define \ XV_VERSION_STRING'

コマンド例のシェルプロンプト

以下の表に、C シェル、Bourne シェル、および Korn シェルのデフォルトの UNIX® システムプロンプト、およびスーパーユーザーのプロンプトを紹介します。

表 P-2 シェルプロンプト

シェル	プロンプト
C シェル	machine_name%
C シェルのスーパーユーザー	machine_name#
Bourne シェルおよび Korn シェル	\$

表 P-2 シェルプロンプト (続き)

シェル	プロンプト
Bourne シェルおよび Korn シェルのスーパー ユーザー	#

Sun N1 System Manager 1.3.1 の問題点

この章では、Sun N1 System Manager 1.3.1 のリリース時点で判明している重要な情報を示します。拡張機能、インストールに関する注意事項、既知の問題、およびその他の最新の情報が記載されています。この文書を読んでから、この Sun の製品を使用してください。

N1 System Manager 1.3.1 の新機能

N1 System Manager 1.3.1 リリースでは、次のハードウェアとオペレーティングシステムのサポートが新しく追加されました。

- Sun Blade™ 8000 モジュールシステム
 - Sun Blade X8000 シャーシ
 - Sun Blade X8400 サーバーモジュール
- Sun Fire™ X4100 M2 サーバー
- Sun Fire X4200 M2 サーバー
- Sun Fire X4600 M2 サーバー
- Sun Fire X4500 サーバー

Sun Blade X8400 サーバーモジュールにプロビジョニング可能なオペレーティングシステムは、次のとおりです。

- Solaris™ x64 Version 10 Update 2、64 ビット
- Red Hat Enterprise Linux 4.0 AS Update 3、64 ビット
- SUSE Linux Enterprise Server 9 SP3、64 ビット
- Windows 2003 SE、2003 EE、SP1、32 ビット
- Windows 2003 SE、2003 EE、64 ビット

このリリースの N1 System Manager の変更点については、『Sun N1 System Manager 1.3.1 の新機能』を参照してください。

機能およびソフトウェアのサポートについて

この節では、Sun N1 System Manager 1.3.1 リリースでサポートされていない機能とソフトウェアを示します。

- N1 System Manager 製品は、英語と日本語にのみ対応しています。
- Windows OS は、N1 System Manager で OS のプロビジョニングだけを行うことができます。Windows が実行されている管理対象サーバーに OS 監視や OS 更新などのほかの機能は使用できません。
- N1 System Manager 管理サーバーは、N1 System Manager ソフトウェア専用にするようにしてください。
- Sun Blade X8400 サーバーモジュールではディスクレスクライアントはサポートされていません。

変更されたマニュアル

この節では、記述の誤りを含め、判明しているマニュアルの更新内容について説明します。

Sun N1 System Manager 1.3 マニュアルコレクションの問題点

「スーパーユーザーとしてログイン」または「rootとしてログイン」という指示がある場合は「su - root」コマンドを使用するか、サーバーの root アカウントとパスワードを使用してサーバーに物理的にログインします。

『Sun N1 System Manager 1.3 サイト計画の手引き』の問題点

Linux OS のインストールの要件の節にある箇条書きの 2 番目の項目が間違っています。正しい情報は、次のとおりです。

Red Hat Enterprise Linux AS 4.0 Update 1 以降をインストールする場合、SELinux を有効にするかどうかを確認するメッセージが表示されたら、「無効化」を選択します。N1 System Manager では、permissive (許容) モードでも、SELinux が有効になっている状態がサポートされません。

『Sun N1 System Manager 1.3 検出および管理マニュアル』の問題点

show privilege コマンドの制限モードの機能が間違っています。このコマンドは、SecurityAdmin ロールだけが使用できます。

『Sun N1 System Manager 1.3 インストールおよび構成ガイド』の問題点

『Sun N1 System Manager 1.3 インストールおよび構成ガイド』の付録 A 「Sun N1 System Manager のプロトコル、ポート、および機能のリファレンス」に示す IPMI に使用されるポートに関する情報が間違っています。IPMI では、TCP ではなく UDP プロトコルが使用されます。

コマンド行ヘルプに関する問題点

この項では、コマンド行ヘルプのページの記述の誤りについて説明します。

force 属性と netboot 属性の指定

コマンド行ヘルプのページで、force 属性と netboot 属性の対応する値について説明していません。コマンドを有効にするには、force=true または force true のように、値として true を指定してください。

bootip 属性の説明が不完全

コマンド行ヘルプのページでは、bootip 属性は Linux をプロビジョニングする場合だけに必要と記述されています。実際には、bootip 属性は Windows をプロビジョニングする場合にも必要です。

create os に関する記述の誤り

type 属性は、file 属性と cdrom 属性と同時に指定できません。OS イメージをコピーするときには、OS の種類は自動的に判別されます。

Grid Engine のモジュール名の違い

CLI の type 属性の値に使用する Grid Engine のモジュール名は、nlge ではなく GridEngine でなければなりません。これは、次のコマンドが対象です。

- create application/create applicationprofile
- delete application/delete applicationprofile

- `set application/set applicationprofile`
- `show application/show applicationprofile`

N1 System Manager のインストールと設定に関する問題点

この節では、N1 System Manager のインストールと設定に関して判明している問題点をまとめています。

- インストール前にシステムのローカライズの設定を確認してください。この設定は、統一されている必要があります。
- Sun Blade X8400 プラットフォームの Solaris 10 OS 上で N1 System Manager を設定する場合は、ISC DHCP を選択します。

バックアップと復元のあとに N1 System Manager が自動的に再起動しない (6444305)

Solaris Sparc または x86 の管理サーバー上の N1 System Manager はバックアップと復元のあとに自動的に再起動しません。次のエラーメッセージが表示される場合があります。

コマンド行サービスへの接続が失われました。

回避策: 次のコマンドを入力して N1 System Manager を手動で再起動します。

```
#svcadm enable n1sm
```

インストールと設定のあとに n1sh シェルを実行できないことがある (6443655)

回避策: SSL 証明書が壊れている可能性があります。次のように入力してセキュリティーキーを生成し直します。

```
# /opt/sun/cacao/bin/cacaoadm stop
```

```
# /opt/sun/cacao/bin/cacaoadm create-keys --force
```

```
# /opt/sun/cacao/bin/cacaoadm start
```

具体的な手順については、『Sun N1 System Manager 1.3.1 Troubleshooting Guide』の「Regenerating Common Agent Container Security Keys」を参照してください。

N1 System Manager のアンインストール後に Java Web Console が削除される (6433383)

N1 System Manager をインストールしてアンインストールすると、Java Web Console がシステムから削除されます。システムに Java Web Console のパッケージはありません。

回避策: N1 System Manager をアンインストールする前に、
`/n1gc-setup/installer/jobs/3installLockhart.pl` を実行します。

N1 System Manager を停止すると Java Web Console が停止する (6432305)

回避策: `/usr/sbin/smcwebserverstart` を使用して Java Web Console を再起動します。

インストールを取り消すと、ユーザーインタフェースのコンポーネントがインストールされない (6430787)

Control-C を使用して N1 System Manager のインストール処理を取り消すと、ユーザーインタフェースのコンポーネントがインストールされません。

回避策: `/usr/share/webconsole/bin/setup -u -f` を使用してユーザーインタフェースのコンポーネントを手動でアンインストールします。インストーラをもう一度実行します。

Solaris x86 の管理サーバーの再起動後に N1 System Manager のデータベースが起動しない (6398263)

Solaris x86 の管理サーバーの起動後に、まれに N1 System Manager のデータベースが起動しないことがあります。通常は次のエラーメッセージが表示されます。

```
DBI connect('dbname=mgmt;port=5434','mgmt',...) failed:
could not connect to server: No such
file or directory at /opt/SUNWscs/lib/perl5/SCSDB.pm
```

回避策: 次のように入力して、管理サーバーで N1 System Manager のデータベースを手動で起動します。

```
# svcadm clear scs-db
# svcadm restart scs-db
```

N1 System Manager のインストールに失敗する (6284696)

N1 System Manager のインストール処理を中断してから再び開始すると、手順 5 の「Install OS provisioning components」で N1 System Manager のインストールが失敗することがあります。この問題が発生した場合は、その後の N1 System Manager のアンインストール、再インストールが失敗します。

最初のインストール失敗のあと、インストールログファイル
/var/tmp/installer.log.latest には次のメッセージが含まれます。

```
Installing Master Server ...
Error! Missing file (looked for /opt/SUNWn1sps
/N1_Grid_Service_Provisioning_System_5.2
/server/postgres/postgresql.conf.in)!
print() on closed filehandle GEN0 at
/usr/perl5/5.8.4/lib/i86pc-solaris-64int/IO/Handle.pm line 399.
SPS install failed with exit status: 256
-----

      2k. Which port should Postgres listen on?
      (default: 5434) [1024-65535] spawn id(3) is not a tty. Not changing mode
      at /usr/perl5/site_perl/5.8.4/Expect.pm line 375.
admin
admin
admin

      ** Invalid Input. Enter a numeric value for the port number.

      2k. Which port should Postgres listen on?
      (default: 5434) [1024-65535] spawn id(3) is not a tty. Not changing mode
      at /usr/perl5/site_perl/5.8.4/Expect.pm line 375.
admin
admin
admin

      ** Invalid Input. Enter a numeric value for the port number.

      2k. Which port should Postgres listen on?
      (default: 5434) [1024-65535
```

N1 System Manager ソフトウェアをアンインストールして再インストールすると、インストールログには次のメッセージが含まれます。

```
Error! Failed to initialize the database (exit value was 1).
Exiting..
print() on closed filehandle GEN0 at /usr/lib/perl5/5.8.0
```



```
/i386-linux-thread-multi/IO/Handle.pm line 395.  
SPS install failed with exit status: 256
```

回避策: 管理サーバーにインストールされているオペレーティングシステムに従って、適切な回避手順をとってください。インストールエラーの発生具合によっては、手順中の作業が正しく完了しないことがあります。その場合は、次の手順に進んでください。

Solaris がインストールされている Sun Fire X4100 または Sun Fire X4200 管理サーバーの場合:

1. サーバーとエージェントを停止します。

```
# su - nlgsp -c "/opt/SUNWnlgsp/N1_Service_Provisioning_System_5.2/  
server/bin/cr_server stop"  
# su - nlgsp -c "/opt/SUNWnlgsp/N1_Service_Provisioning_System/  
agent/bin/cr_agent stop"
```

2. サービスプロビジョニングを手動でアンインストールします。

```
# /opt/SUNWnlgsp/N1_Service_Provisioning_System_5.2/cli/bin/cr_uninstall_cli.sh  
# /opt/SUNWnlgsp/N1_Service_Provisioning_System_5.2/server/bin/cr_uninstall_ms.sh
```

3. 次のパッケージを削除します。

```
SUNWspsc1  
SUNWspsms  
SUNWspsm1
```

```
# pkgrm SUNWspsc1.*  
# pkgrm SUNWspsms.*  
# pkgrm SUNWspsc1.*
```

SPS パッケージの複数のインスタンスがインストールされている可能性があります。テキスト文字列 `.*` は、パッケージのすべてのインスタンスを削除することを指定します。

「Do you want to remove this package? [y,n,?,q]」というプロンプトで **y** を入力します。pkgrm: ERROR: no package associated with SUNWspsc1 というメッセージが表示された場合、そのパッケージは手順 2 ですでに削除されています。パッケージの削除を続けてください。

4. サービスプロビジョニングディレクトリとファイルを削除します。

```
# cd /  
# rm -rf /opt/SUNWnlgsp/  
# rm /nlgc-setup/sps/state  
# rm /nlgc-setup/state/0installSPS.pl.state
```

5. 管理サーバーを再起動して、N1 System Manager ソフトウェアをインストールします。

Linux がインストールされている Sun Fire X4100 または Sun Fire X4200 管理サーバーの場合:

1. サーバーとエージェントを停止します。

```
# su - nlgsp -c "/opt/sun/N1_Service_Provisioning_System_5.2/  
server/bin/cr_server stop"  
# su - nlgsp -c "/opt/sun/N1_Service_Provisioning_System/  
agent/bin/cr_agent stop"
```

2. サービスプロビジョニングディレクトリとファイルを削除します。

```
# cd /  
# rm -rf /opt/sun/N1_Grid_Service_Provisioning_System_5.1  
# rm -rf /opt/sun/N1_Grid_Service_Provisioning_System  
# rm -rf /opt/sun/N1_Service_Provisioning_System  
# rm -rf /opt/sun/N1_Service_Provisioning_System_5.2  
# rm /nlgc-setup/sps/state  
# rm /nlgc-setup/state/0installSPS.pl.state
```

3. 管理サーバーを再起動して、N1 System Manager ソフトウェアをインストールします。

OS プロビジョニングに関する問題点

この節では、OS プロビジョニング (配備) に関して判明している問題点をまとめています。

OS プロファイルに製品キーがない場合に Windows OS の配備に失敗する (6449265)

OS プロファイルに製品キーがないため、配備に失敗します。しかし、OS プロファイルにプロダクトキーを追加しようとすると、「OS profile is in use.」というメッセージが表示されて処理に失敗します。

回避策: ジョブのタイムアウトが発生するまで待ってから、OS プロファイルに製品キーを追加します。

DHCP オプションを使用した Red Hat OS の配備で DHCP 範囲から IP アドレスが割り当てられない (6449051)

DHCP オプションを使用して Red Hat OS をシステムに配備するときに、DHCP 範囲内の IP アドレスがシステムに割り当てられません。

回避策: 次の手順を実行します。

1. 管理サーバーにログインします。
2. /opt/sun/scs/data/allstart/scripts/dhcp_redhat.sh ファイルを編集します。

```
DEVICE=eth0
FILE=/etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-$DEVICE
cat <<_EOF_> $FILE DEVICE=$DEVICE
BOOTPROTO=dhcp
_EOF_
chown root.root $FILE
chmod 644 $FILE
```

Device エントリを、DHCP の実行に必要な適切なインタフェースに変更します。

3. dhcp_redhat.sh スクリプトをサーバーの OS プロファイルに追加します。

```
#n1sh add osprofile osprofile-name script
/opt/sun/scs/data/allstart/scripts/dhcp_redhat.sh type=post
```

ACPI が有効になっている場合に Sun Blade X8400 サーバーへの Red Hat OS の配備に失敗する (6442992)

Sun Blade X8400 サーバーの CMOS 設定では、デフォルトで ACPI が有効になっていますが、この場合、Linux のインストールが対話型モードになります。

回避策: load コマンドに追加のカーネルパラメータを指定します。

```
N1-ok> load server <servername> osprofile <profilename> ... kernelparameter
pci=nommconf
```

このパラメータは、load コマンドを実行するたびに指定します。

nfs オプションを指定した場合、Sun Blade X8400 サーバーへの SUSE Linux Enterprise Server 9 SP3、 64 ビット OS の配備に失敗する (6438194)

インストールプロトコルとして nfs を指定すると、OS の配備が対話型モードになります。

回避策: インストールプロトコルとして http を指定します。

拡張モジュールを使用して **Sun Blade X8400** サーバーに **Red Hat OS** をプロビジョニングしたあとに管理対象サーバーが完全に再起動されない (6437482)

拡張モジュールを使用して Sun Blade X8400 サーバーに Red Hat Enterprise Linux 4.0AS Update 3、64 ビットのオペレーティングシステムをプロビジョニングしたあとにサーバーが完全に再起動されません。Kudzu が有効になっている場合に再起動に失敗する可能性があります。処理は「Checking for new hardware」というメッセージで停止します。

Linux OS のプロファイルを使用して Sun Blade X8400 サーバーで Kudzu を無効にするには、次の手順に従います。

1. スーパーユーザーとして管理サーバーにログインします。
2. 次の行を含むシェルスクリプトファイルを作成します。

```
#!/bin/sh
chkconfig kudzu off
```

3. ファイルを既知の場所 (たとえば /scripts/kudzu.sh) に保存します。
4. N1 System Manager のコマンド行から add osprofile コマンドを使用して、スクリプトを OS プロファイルの post セクションに追加します。

たとえば、Red Hat Enterprise Linux 4 Update 3 の OS プロファイルが *rhel4u3* という名前の場合、次のように入力します。

```
N1-ok> add osprofile rhel4u3 script /scripts/kudzu.sh type=post
```

スクリプトは適切な OS プロファイルに追加してください。

5. 更新したプロファイルを使用して Red Hat Enterprise Linux 4 Update 3 を Sun Blade X8400 サーバーに再び配備します。

Windows の配備時に手動ネットブートを指定すると dhcpd.conf ファイルにエントリが作成されない (6432047)

回避策: 手動ネットブートを指定せずに配備します。

Sun Fire X2100 サーバーへの SUSE Linux Enterprise Server 9 SP3、64 ビット OS の配備に失敗する (6416190)

配備に失敗し、「Reread of the partition table failed.」というメッセージが表示されます。

回避策: サーバーの OS プロファイルで device 属性に hde を指定します。

ジョブまたはジョブステップのタイムアウト値を経過したときに OS 配備に空白のエラーメッセージが表示される (6405994)

多数の管理対象サーバーに OS を配備する場合、OS 配備ジョブがジョブまたはジョブステップのタイムアウト値を経過すると OS の配備に失敗する場合があります。この問題が発生した場合、ジョブはエラーになりますが、エラーの説明が空白で、インストールは実際には正常に終了した可能性があります。次に例を示します。

```
bash-3.00# n1sh show job 12
ジョブ ID:      12
日時:          2006-03-29T01:06:53+0000
種類:          OS のロード
ステータス:    エラー (2006-03-29T03:07:00+0000)
コマンド:      load group sparc-srvrs osprofile sol-sparc networktype=static ip=10.0.108.81-10.0.108.90
所有者:        root
エラー:        10
警告:          0
```

ステップ

ID	種類	開始	完了	結果
1	ホスト取得	2006-03-29T01:06:54+0000	2006-03-29T01:06:54+0000	完了
2	ホスト取得	2006-03-29T01:06:54+0000	2006-03-29T01:06:54+0000	完了
.				
.	サーバー 3 ~ 28			
.				
29	ホスト取得	2006-03-29T01:06:56+0000	2006-03-29T01:06:57+0000	完了
30	ホスト取得	2006-03-29T01:06:56+0000	2006-03-29T01:06:57+0000	完了
31	Java の実行	2006-03-29T01:06:56+0000	2006-03-29T03:06:58+0000	エラー 1
32	Java の実行	2006-03-29T01:06:56+0000	2006-03-29T03:06:58+0000	エラー 2
33	Java の実行	2006-03-29T01:06:56+0000	2006-03-29T03:06:58+0000	エラー 3
34	Java の実行	2006-03-29T01:06:56+0000	2006-03-29T03:06:58+0000	エラー 4
35	Java の実行	2006-03-29T01:06:56+0000	2006-03-29T03:06:58+0000	エラー 5
36	Java の実行	2006-03-29T01:06:56+0000	2006-03-29T03:06:58+0000	エラー 6
37	Java の実行	2006-03-29T01:06:57+0000	2006-03-29T03:06:58+0000	エラー 7
38	Java の実行	2006-03-29T01:06:57+0000	2006-03-29T03:06:58+0000	エラー 8

39	Java の実行	2006-03-29T01:06:57+0000	2006-03-29T03:06:58+0000	エラー 9
40	Java の実行	2006-03-29T01:06:57+0000	2006-03-29T03:06:58+0000	エラー 10

エラー

エラー 1:
説明:

エラー 2:
説明:

.
. 3～8まで空白のエラーメッセージ
.

エラー 9:
説明:

エラー 10:
説明:

回避策:nismconfig を使用してジョブのタイムアウト値を大きくするか、既存のタイムアウト値を経過する原因(ネットワークの待ち時間の問題など)を排除します。また、一部の OS 配備は正常に終了した可能性があります。サーバーが正常にインストールされたかどうかを確認するには、「すべてのサーバー」ページの「使用 OS」列を確認するか、シリアルコンソールを使用してサーバーにログインします。

RIS のホストキーがないため、Windows OS ディストリビューションの作成に失敗する (6392700)

Windows で RIS サーバーのホストキーが管理サーバーの ./ssh/known_hosts ファイルにない場合、create os コマンドは失敗します。

回避策: RIS サーバーのホストキーが管理サーバーの ./ssh/known_hosts ファイルにあることを確認します。ssh コマンドを使用して管理サーバーから RIS サーバーに手動でログインすると、ホストキーが自動的に作成されます。

DHCP を使用して Windows OS を配備するときにプロビジョニング IP アドレスが正しく割り当てられない (6381141)

networktype=dhcp 属性を指定して Windows OS を配備すると、Windows のインストール後に管理対象サーバーに割り当てられる IP アドレスが、bootip 属性で指定した IP アドレスになります。IP アドレスは、DHCP サービスによって自動的に割り当てられる必要があります。

回避策: インストールの完了後に管理対象サーバーを再起動します。サーバーのプロビジョニング IP アドレスが、DHCP サーバーから正しく再割り当てされます。

Sun Fire X4500 サーバーへの Solaris 10 Update 2 OS の配備にプロファイルが必要である (6379990)

Solaris 10 Update 2 OS を Sun Fire X4500 サーバーに配備するには、特殊なプロファイルが必要であり、ディスクを無作為に選択できません。サーバーの正しい起動ディスクを判別するには、先にシステムを起動する必要があります (工場出荷時の OS または CD-ROM から)。

正しい起動ディスクを検出するには、次の手順に従います。

1. 端末ウィンドウを開きます。
2. 次のコマンドを入力して、最初の起動可能なディスクを検索します。

```
#cfgadm | grep sata3/0
```

次のように表示されます。

```
sata3/0::dsk/cXt0dY
```

ここで *X* と *Y* は数値です。例: c4t0d0

3. 次のいずれかを実行して、2 番目の起動可能なディスクを検索します。
0 に 4 を加算します。たとえば、最初のドライブが c4t0d0 の場合、2 番目のドライブは c4t4d0 になります。

または次のコマンドを入力します。#cfgadm | grep sata3/4

次のように表示されます。

```
sata3/4::dsk/cNtNdN
```

ここで *N* は数値です。例: c4t1d0

4. 手順 2 と手順 3 の情報を使用してインストールを続行し、サーバーの OS プロファイルに適用します。

Windows の OS プロファイルにタイムゾーン属性と言語属性のデフォルト値がない (6374740)

回避策: 回避策はありません。

bootpath 属性に bge1 デバイスパスを指定すると新しい **Sun Fire V20z** サーバーへの **OS** の配備に失敗する (6346563)

N1SM の製品マニュアルに記載されているように、Sun Fire V20z サーバーの bge1 デバイスパスは /pci@0,0/pci1022,7450@a/pci17c2,10@3 です。ただし、新しい Sun Fire V20z サーバーでは bge1 デバイスパスが変更されているため、bootpath 属性に bge1 デバイスパスを指定すると、OS の配備に失敗します。

回避策: 新しい Sun Fire V20z サーバーでは、bootpath 属性に次の bge1 デバイスパスを使用します。/pci@0,0/pci1022,7450@a/pci17c2,10@2,1

BIOS コンソールのボーレートを設定すると、**Sun Fire V20z** および **V40z** サーバーへの **OS** の配備に失敗する (6322295)

BIOS コンソールのボーレートが 9600 (デフォルト) に設定されていないと、Sun Fire V20z または V40z サーバーへの OS の配備に失敗します。したがって、load server コマンドまたはブラウザインタフェースの「OS のロード」ウィザードで consolebaudrate の値を変更できません。

注 - SP コンソールのボーレートが 9600 以外に設定されていた場合、OS の配備は正常に終了しますが、connect server コマンドを使用したコンソールで文字が正しく表示されません。

回避策: OS の配備後に BIOS コンソールのボーレートを手動で変更します。変更するには、ターゲットサーバーを再起動し、起動処理中に BIOS 設定画面を表示します。BIOS の設定を変更する方法については、サーバーのマニュアルを参照してください。

Grid Engine アプリケーションがあるサーバーへの **OS** プロファイルのインストールに失敗する (6406020)

Grid Engine アプリケーションがあるサーバーに OS プロファイルをロードしようとする時、「処理が失敗しました。」というメッセージが表示されて処理に失敗します。

回避策: ターゲットサーバーから Grid Engine アプリケーションをアンロードします。

インタフェースに関する問題

この節では、ブラウザインタフェースおよびコマンド行インタフェースに関して判明している問題点をまとめています。

N1 System Manager のブラウザインタフェースに、Sun Fire X4500 サーバー用の正しい画像アイコンがない (6441192)

回避策: 回避策はありません。

オンラインヘルプの印刷機能が機能しないことがある (6440149、6436572)

オンラインヘルプのウィンドウの「プリンタ」アイコンが機能しないことがあります。

回避策: ヘルプの内容のフレームを新しいブラウザウィンドウで開き、通常の Web ページと同じようにヘルプを印刷します。たとえば、Mozilla ベースのブラウザでは、内容ページでマウスボタン 3 をクリックし、「This Frame」->「Open Frame in New Window」を選択します。

N1 System Manager の Express モジュールの命名法が Sun Blade X8400 サーバーモジュールの CLI と一致しない (6432413)

Sun Blade X8400 サーバーモジュールの Express モジュールが、ILOM Web GUI の EMa と EMbではなく、EM.0 と EM.1 と表されます。

回避策: ユーザーインタフェースの EMa は EM.0、EMb は EM.1 のこととみなします。

remove group コマンドの正常終了後にエラーメッセージが表示される (6404420)

remove group コマンドのリモート処理が正常に終了しても、エラーメッセージが返されます。次に例を示します。

N1-ok> show group

名前	サーバー	ハードウェアの障害	OS リソースの障害
new1	1	不明	-

N1-ok> show group new1

名前	ハードウェア	ハードウェアの健全性	電源	使用 OS	OS リソースの健全性
10.0.106.6	V20z	不明	オン		未初期化

N1-ok> remove group new1 server all

"10.16.0.5,10.16.0.6" は "new1" にありません 削除に失敗したことを示す間違ったメッセージ

N1-ok> show group new1

正常に削除されたことの確認

項目が見つかりませんでした。

回避策: 前の例に示すように show group を使用して、remove group コマンドが正常に終了したことを確認します。

500 を超えるサーバーを表示しようとするとブラウザインタフェースにスクリプトの問題が表示される (6365731)

「システムダッシュボード」ページに 500 を超えるサーバーを表示しようとすると、次のメッセージが表示されます。

Warning: Unresponsive script

A script on this page may be busy, or it may have stopped responding.
You can stop the script now, or you can continue to see if the script will complete.

<Stop script> <Continue>

回避策: 「Stop script」を選択し、すべてのサーバーが表示されるまで数分間待ちます。この回避策は、Internet Explorer ブラウザでは使用できません。

ファームウェアレベルが 6464 の Sun Fire X4100 サーバーと Sun Fire X4200 サーバーについて表示されるスワップ情報が間違っている (6344709)

ブラウザインタフェースのサーバーの詳細と show server コマンドの結果に、ファームウェアレベルが 6464 で、Red Hat オペレーティングシステムがインストールされた Sun Fire X4100 サーバーと Sun Fire X4200 サーバーについて間違ったスワップ情報が表示されます。

回避策: シリアルコンソールを使用してサーバーにアクセスし、top コマンドを使用して正しいスワップ情報を確認します。

ブラウザインタフェースを使用してジョブを停止しても、コマンド行区画に停止のメッセージが表示されない (6344094)

ブラウザインタフェースの「ジョブ」タブでジョブを停止しても、関連する停止のメッセージがコマンド行区画に表示されません。

回避策: ブラウザインタフェースのジョブの詳細ページで、または `show job job-ID` コマンドを使用して、ジョブが停止したことを確認します。

ファームウェア更新に関する問題点

この節では、ファームウェアの更新に関して判明している問題点をまとめています。

Sun Fire X4100/X4200/X4600 の各プラットフォームのファームウェアを更新する前にスクリプトを実行する

Sun Fire X4100/X4200/X4600 の各プラットフォームで旧バージョンのファームウェアを実行していて、最新のレベルまで更新する場合は、該当するすべてのサーバーでフラッシュ前のアップグレードスクリプトを実行する必要があります。サーバーが該当するかどうかを確認するに

は、<http://www.sun.com/products-n-solutions/hardware/docs/html/819-1162-17/>で「Flash Upgrading Your Server to Release 1.1」の章を参照してください。

N1 System Manager には、次の処理を自動的に行うスクリプトがあります。

- 検出されたすべてのサーバーを調べる。
- フラッシュ前のアップグレードが必要なサーバーを判別する。
- 該当するサーバーでフラッシュ前のアップグレードスクリプトを実行する。

スクリプトの場所は `/opt/sun/n1gc/bin/updateall` です。

該当するすべてのサーバーにこのスクリプトが適用されたら、N1 System Manager を使用してファームウェアを更新できます。手順については、『Sun N1 System Manager 1.3 オペレーティングシステムプロビジョニングガイド』を参照してください。

N1 System Manager で、T1000/T2000 の各プラットフォームのシステムファームウェアバージョンが表示されない (6443502)

T1000/T2000 の各プラットフォームのファームウェア更新は、すべてのサブコンポーネントを更新するバージョン付きバンドルとして提供されています。N1 System Manager では、このバージョン番号は表示されません。

回避策: Telnet を使用して手動でサービスプロセッサにログインします。showhost コマンドを使用してシステムファームウェアのバージョンを確認します。

ALOM ベースのサーバーでファームウェアの更新に失敗したときに不適切なエラーメッセージが表示される (6330195)

管理サーバーで FTP サービスが有効になっていない場合、ALOM ベースのサーバーのファームウェア更新に失敗し、ジョブの出力に次のエラーメッセージが表示されます。

`server-name` を更新しようとして例外が発生しました。詳細はログファイルを参照してください。

回避策: 管理サーバーで FTP サービスを有効にします。詳細は、『Sun N1 System Manager 1.3 サイト計画の手引き』の「管理サーバーの FTP を有効化」を参照してください。

N1 System Manager で、互換性のないファームウェアをデュアルコアの Sun Fire V20z または Sun Fire V40z サーバーへ配備できる (6296404)

デュアルコアの Sun Fire V20z および Sun Fire V40z サーバーのファームウェアはリビジョン 2.3.x 以降である必要があります。N1 System Manager は、2.3.x より前のリビジョンのファームウェアの配備を禁止しません。2.3.x より前のリビジョンのファームウェアを配備すると、サーバーのサービスプロセッサで問題が発生することがあります。

回避策: 更新する前にファームウェアのリビジョンをしっかりと確認してください。

監視に関する問題点

OS 監視のしきい値違反が送信されない (6433480)

OS 監視エージェントのアウトバウンドインタフェースが、ユーザーが指定する agentip と一致しない場合があります。ターゲットサーバーの `uname -n` を解決したときに agentip にならない場合は、agentip インタフェースを経由してエージェントから N1 System Manager にトラップが送信されず、サーバーの再起動時にシステムが再起動されません。

回避策: OS 監視 (osmonitor) 機能を追加する前に、ターゲットサーバーで、主ホスト名を解決すると、OS 監視機能の追加に使用される agentip IP アドレスになることを確認します。再起動時にも `uname -n` が常にこのホスト名を返すことを確認します。その後、OS 監視機能を追加します。

キューにあって、実行中でないジョブが、「ジョブの詳細」で「未開始」と表示される (6318398)

全体のジョブ負荷が大きすぎて、キュー内の次のジョブを実行できない場合、「ジョブの詳細」画面には、実行中のジョブのステータスが「実行中」、その他のジョブのステータスは「未開始」と表示されます。キュー内のジョブは、1 つまたは複数の実行中のジョブが完了し、全体のジョブ負荷が小さくなって、キュー内の次のジョブを実行できる状態になったあとで実行されます。

詳細は、『Sun N1 System Manager 1.3 検出および管理マニュアル』の「ジョブのキューイング」を参照してください。

ジョブの完了後も、ジョブの実行中を表す時計アイコンが残る (6258571)

すべてのジョブの実行が完了しても、更新機能の問題が原因で、「表示の選択」セクション内のサーバーの横に時計アイコンが表示され続けることがあります。

回避策: 「更新」ボタンをクリックするか、F5 キーを押すことによって、ブラウザインタフェースを更新してください。

Grid Engine モジュールに関する問題点

この節では、Grid Engine モジュールに関して判明している問題点をまとめています。

Grid Engine のマスターが 2 つある場合に、マスターを N1 System Manager からアンロードできない (6423617)

回避策: N1 System Manager を再ロードするか、次の操作を行います。

次の手順でマスターホストを 1 つデータベースから削除します。

1. Solaris の場合は /opt/SUNWscs/sbin/db_tool.pl psql、Linux の場合は /opt/sun/scs/sbin/db_tool.pl psql を使用してデータベースにアクセスします。
2. 2 つのマスターのエントリを表示します。

```
mgmt=>select * from sge_hosts;
```

appliance_id	type	hostname	spooldir
2	MASTER	10-0-0-17	/gridware/sge/default/spool/qmaster
3	MASTER	hdco16	/gridware/sge/default/spool/qmaster

(2 rows)

```
mgmt=>SELECT * from sge_host_versions;
```

appliance_id	version
2	a1
3	a1

(2 rows)

3. sge_host_versions 表と sge_hosts 表からマスターを 1 つ削除します。

```
mgmt=>delete from sge_host_versions where appliance_id = '3';
```

```
DELETE 1
```

```
mgmt=>SELECT * from sge_host_versions;
```

appliance_id	version
2	a1

(1 row)

```
mgmt=>delete from sge_hosts where appliance_id = '3';
```

```
DELETE 1
```

```
mgmt=>select * from sge_hosts;

appliance_id | type | hostname | spooldir
-----+-----+-----+-----
2 | MASTER | 10-0-0-17 | /gridware/sge/default/spool/qmaster

(1 row)
```

Grid Engine モジュールのジョブの種類が表示されない (6375965)

Grid Engine モジュールのジョブの種類が表示されません。たとえば、load server コマンドを実行して GE アプリケーションをインストールしたあと、関連付けられているジョブ 5、6、および7のジョブの種類が表示されません。

ジョブ ID	日時	種類	ステータス	所有者
7	2006-01-07T08:13:24-0700		完了	root
6	2006-01-07T08:08:22-0700		完了	root
5	2006-01-07T08:04:42-0700		完了	root
4	2006-01-07T07:54:41-0700	基本管理サポートの追加	完了	root
3	2006-01-07T07:53:43-0700	基本管理サポートの追加	完了	root
2	2006-01-07T07:03:04-0700	検出	完了	root
1	2006-01-07T07:02:10-0700	検出	完了	root

回避策: 回避策はありません。

Grid Engine 権限を持つスーパーユーザー以外のユーザーが Grid Engine アプリケーションを作成または削除できない (6407102)

適切な Grid Engine 権限を持つスーパーユーザー以外のユーザーが、create application コマンドと delete application コマンドを使用して Grid Engine アプリケーションを作成または削除できません。

回避策: create application コマンドまたは delete application コマンドを使用するには、管理サーバーのスーパーユーザーである必要があります。

国際化の問題

管理サーバーを英語以外の環境で使用している場合に、次の問題が発生する可能性があります。

各 OS プロファイルの言語属性の説明がない (6426098)

N1 System Manager のオンラインヘルプには、各 OS プロファイルの有効な言語属性の一覧はありません。言語属性は、OS プロファイルの OS プラットフォームによって異なります。

RHEL3 と RHEL4 の各プラットフォームの言語属性

name='Chinese(Mainland)' attribute='zh_CN'

name='Chinese(Taiwan)' attribute='zh_TW'

name='Czech' attribute='cs_CZ'

name='Danish' attribute='da_DK'

name='Dutch' attribute='nl_NL'

name='English' attribute='en_US'

name='French' attribute='fr_FR'

name='German' attribute='de_DE'

name='Icelandic' attribute='is_IS'

name='Italian' attribute='it_IT'

name='Japanese' attribute='ja_JP'

name='Korean' attribute='ko_KR'

name='Norwegian' attribute='no_NO'

name='Portuguese' attribute='pt_PT'

name='Russian' attribute='ru_RU'

name='Slovenian' attribute='sl_SI'

name='Spanish' attribute='es_ES'

name='Swedish' attribute='sv_SE'

name='Ukrainian' attribute='uk_UA'

Solaris プラットフォームの言語属性

name='Arabic (UTF-8)' attribute='ar_EG.UTF-8'

name='Arabic (ISO8859-6)' attribute='ar_EG.ISO8859-6'

name='Bulgarian (ISO-8859-5)' attribute='bg_BG.ISO8859-5'

name='English (7-bit ASCII)' attribute='C'

name='Catalan (ISO 8859-1)' attribute='ca_ES.ISO8859-1'

name='Catalan (ISO 8859-15)' attribute='ca_ES.ISO8859-15'

name='Czech (ISO 8859-2)' attribute='cs_CZ.ISO8859-2'

name='Danish (ISO 8859-1)' attribute='da_DK.ISO8859-1'

name='Danish (ISO 8859-15)' attribute='da_DK.ISO8859-15'

name='German (Austria ISO 8859-1)' attribute='de_AT.ISO8859-1'

name='German (Austria ISO 8859-15)' attribute='de_AT.ISO8859-15'

name='German (Switzerland ISO 8859-1)' attribute='de_CH.ISO8859-1'

name='German (de_DE UTF-8)' attribute='de_DE.UTF-8'

name='German (de_DE ISO 8859-1)' attribute='de_DE.ISO8859-1'

name='German (de_DE ISO 8859-15)' attribute='de_DE.ISO8859-15'

name='Greek (el_GR ISO 8859-7)' attribute='el_GR.ISO8859-7'

name='English (Australia ISO 8859-1)' attribute='en_AU.ISO8859-1'

name='English (Canada ISO 8859-1)' attribute='en_CA.ISO8859-1'

name='English (Great Britain ISO 8859-1)' attribute='en_GB.ISO8859-1'

name='English (Great Britain ISO 8859-15)' attribute='en_GB.ISO8859-15'

name='English (Ireland ISO 8859-1)' attribute='en_IE.ISO8859-1'

name='English (Ireland ISO 8859-15)' attribute='en_IE.ISO8859-15'

name='English (New Zealand ISO 8859-1)' attribute='en_NZ.ISO8859-1'

name='English (UTF-8)' attribute='en_US.UTF-8'

```

name='Canada-English (ISO8859-1)' attribute='en_US'
name='U.S.A. (en_US.ISO8859-1)' attribute='en_US.ISO8859-1'
name='U.S.A. (en_US.ISO8859-15)' attribute='en_US.ISO8859-15'
name='Spanish (Argentina) (es_AR.ISO8859-1)' attribute='es_AR.ISO8859-1'
name='Spanish (Bolivia) (es_BO.ISO8859-1)' attribute='es_BO.ISO8859-1'
name='Spanish (Chile) (es_CL.ISO8859-1)' attribute='es_CL.ISO8859-1'
name='Spanish (Columbia) (es_CO.ISO8859-1)' attribute='es_CO.ISO8859-1'
name='Spanish (Costa Rica) (es_CR.ISO8859-1)' attribute='es_CR.ISO8859-1'
name='Spanish (Ecuador) (es_EC.ISO8859-1)' attribute='es_EC.ISO8859-1'
name='Spanish (Spain) (es_ES.ISO8859-1)' attribute='es_ES.ISO8859-1'
name='Spanish (Spain) (es_ES.ISO8859-15)' attribute='es_ES.ISO8859-15'
name='Spanish (Guatemala) (es_GT.ISO8859-1)' attribute='es_GT.ISO8859-1'
name='Spanish (Mexico) (es_MX.ISO8859-1)' attribute='es_MX.ISO8859-1'
name='Spanish (Nicaragua) (es_NI.ISO8859-1)' attribute='es_NI.ISO8859-1'
name='Spanish (Panama) (es_PA.ISO8859-1)' attribute='es_PA.ISO8859-1'
name='Spanish (Peru) (es_PE.ISO8859-1)' attribute='es_PE.ISO8859-1'
name='Spanish (Paraguay) (es_PY.ISO8859-1)' attribute='es_PY.ISO8859-1'
name='Spanish (El Salvador) (es_SV.ISO8859-1)' attribute='es_SV.ISO8859-1'
name='Spanish (Uruguay) (es_UY.ISO8859-1)' attribute='es_UY.ISO8859-1'
name='Spanish (Venezuela) (es_VE.ISO8859-1)' attribute='es_VE.ISO8859-1'
name='Estonian (et_EE.ISO8859-15)' attribute='et_EE.ISO8859-15'
name='Finnish (fi_FI.UTF-8)' attribute='fi_FI.UTF-8'
name='Finnish (fi_FI.ISO8859-1)' attribute='fi_FI.ISO8859-1'
name='Finnish (fi_FI.ISO8859-15)' attribute='fi_FI.ISO8859-15'
name='French (Belgium) (fr_BE.UTF-8)' attribute='fr_BE.UTF-8'
name='French (Belgium) (fr_BE.ISO8859-1)' attribute='fr_BE.ISO8859-1'
name='French (Belgium) (fr_BE.ISO8859-15)' attribute='fr_BE.ISO8859-15'

```

name='French (Canada) (fr_CA.ISO8859-1)' attribute='fr_CA.ISO8859-1'
name='French (Switzerland) (fr_CH.ISO8859-15)' attribute='fr_CH.ISO8859-15'
name='French (French) (fr_FR.UTF-8)' attribute='fr_FR.UTF-8'
name='French (French) (fr_FR.ISO8859-1)' attribute='fr_FR.ISO8859-1'
name='French (French) (fr_FR.ISO8859-15)' attribute='fr_FR.ISO8859-15'
name='Hebrew (Israel) (he_IL.UTF-8)' attribute='he_IL.UTF-8'
name='Hebrew (Israel) (he_IL.ISO8859-8)' attribute='he_IL.ISO8859-8'
name='English (India) (hi_IN.UTF-8)' attribute='hi_IN.UTF-8'
name='Croatian (hr_HR.ISO8859-2)' attribute='hr_HR.ISO8859-2'
name='Hungarian (hu_HU.ISO8859-2)' attribute='hu_HU.ISO8859-2'
name='Icelandic (is_IS.ISO8859-1)' attribute='is_IS.ISO8859-2'
name='Italian (it_IT.UTF-8)' attribute='it_IT.UTF-8'
name='Italian (it_IT.ISO8859-1)' attribute='it_IT.ISO8859-1'
name='Italian (it_IT.ISO8859-15)' attribute='it_IT.ISO8859-15'
name='Japanese (ja_JP.UTF-8)' attribute='ja_JP.UTF-8'
name='Japanese (ja)' attribute='ja'
name='Japanese (ja_JP.PCK)' attribute='ja_JP.PCK'
name='Korean (ko_KR.UTF-8)' attribute='ko_KR.UTF-8'
name='Lithuanian (lt_LT.ISO8859-13)' attribute='lt_LT.ISO8859-13'
name='Latvian (lv_LV.ISO8859-13)' attribute='lv_LV.ISO8859-13'
name='Macedonian (mk_MK.ISO8859-5)' attribute='mk_MK.ISO8859-5'
name='Dutch (Belgium) (nl_BE.ISO8859-1)' attribute='nl_BE.ISO8859-1'
name='Dutch (Belgium) (nl_BE.ISO8859-15)' attribute='nl_BE.ISO8859-15'
name='Dutch (Netherlands) (nl_NL.ISO8859-1)' attribute='nl_NL.ISO8859-1'
name='Dutch (Netherlands) (nl_NL.ISO8859-15)' attribute='nl_NL.ISO8859-15'
name='Norwegian (no_NO.ISO8859-1)' attribute='no_NO.ISO8859-1'
name='Polish (pl_PL.UTF-8)' attribute='pl_PL.UTF-8'

name='Polish (pl_PL.ISO8859-2)' attribute='pl_PL.ISO8859-2'
 name='Portuguese (Brazil) (pt_BR.UTF-8)' attribute='pt_BR.UTF-8'
 name='Portuguese (Brazil) (pt_BR.ISO8859-1)' attribute='pt_BR.ISO8859-1'
 name='Portuguese (Portugal) (pt_PT.ISO8859-1)' attribute='pt_PT.ISO8859-1'
 name='Portuguese (Portugal) (pt_PT.ISO8859-15)' attribute='pt_PT.ISO8859-15'
 name='Romanian (Romania) (ro_RO.ISO8859-2)' attribute='ro_RO.ISO8859-2'
 name='Russian (Russia) (ru_RU.UTF-8)' attribute='ru_RU.UTF-8'
 name='Russian (Russia) (ru_RU.ANSI1251)' attribute='ru_RU.ANSI1251'
 name='Russian (Russia) (ru_RU.ISO8859-5)' attribute='ru_RU.ISO8859-5'
 name='Russian (Russia) (ru_RU.KO18-R)' attribute='ru_RU.KO18-R'
 name='Serbo-Croatian (sh_BA.ISO8859-2)' attribute='sh_BA.ISO8859-2'
 name='Slovak (sk_SK.ISO8859-2)' attribute='sk_SK.ISO8859-2'
 name='Slovenian (sl_SI.ISO8859-2)' attribute='sl_SI.ISO8859-2'
 name='Albanian (sq_AL.ISO8859-2)' attribute='sq_AL.ISO8859-2'
 name='Serbian (sr_YU.ISO8859-5)' attribute='sr_YU.ISO8859-5'
 name='Swedish (sv_SE.UTF-8)' attribute='sv_SE.UTF-8'
 name='Swedish (sv_SE.ISO8859-1)' attribute='sv_SE.ISO8859-1'
 name='Swedish (sv_SE.ISO8859-15)' attribute='sv_SE.ISO8859-15'
 name='Thai (th_TH.UTF-8)' attribute='th_TH.UTF-8'
 name='Thai (th_TH.TIS620)' attribute='th_TH.TIS620'
 name='Turkish (tr_TR.UTF-8)' attribute='tr_TR.UTF-8'
 name='Turkish (tr_TR.ISO8859-9)' attribute='tr_TR.ISO8859-9'
 name='Simplified Chinese (zh_CN.UTF-8)' attribute='zh_CN.UTF-8'
 name='Simplified Chinese (zh_CN.EUC)' attribute='zh_CN.EUC'
 name='Simplified Chinese (zh_CN.GB18030)' attribute='zh_CN.GB18030'
 name='Traditional Chinese (zh_HK.Big5HK)' attribute='zh_HK.Big5HK'
 name='Traditional Chinese (zh_HK.UTF-8)' attribute='zh_HK.UTF-8'

name='Traditional Chinese (zh_TW.UTF-8)' attribute='zh_TW.UTF-8'

name='Traditional Chinese (zh_TW.Big5)' attribute='zh_TW.Big5'

SUSE プラットフォームの言語属性

name='Catala' attribute='ca_ES.UTF-8'

name='Bosnia' attribute='bs_BA'

name='Cestina' attribute='cs_CZ.UTF-8'

name='Dansk' attribute='da_DK.UTF-8'

name='Deutsch' attribute='de_DE.UTF-8'

name='Greek' attribute='el_GR.UTF-8'

name='English (GB)' attribute='en_GB.UTF-8'

name='English (US)' attribute='en_US.UTF-8'

name='Espanol' attribute='es_ES.UTF-8'

name='Francais' attribute='fr_FR.UTF-8'

name='Magyar' attribute='hu_HU.UTF-8'

name='Italiano' attribute='it_IT.UTF-8'

name='Japanese' attribute='ja_JP.UTF-8'

name='Korean' attribute='ko_KR.UTF-8'

name='Lithuanian' attribute='lt_LT.UTF-8'

name='Nederlands' attribute='nl_NL.UTF-8'

name='Norsk' attribute='no_NO.UTF-8'

name='Portugues brasileiro' attribute='pt_BR.UTF-8'

name='Portugues' attribute='pt_PT.UTF-8'

name='Slovenscina' attribute='sl_SI.UTF-8'

name='Slovincina' attribute='sk_SK.UTF-8'

name='Svenska' attribute='sv_SE.UTF-8'

name='Simplified Chinese' attribute='zh_CN.gb18030'

```
name='Traditional Chinese' attribute='zh_TW'
```

```
name='Turkce' attribute='tr_TR.UTF-8'
```

一部のロケールで n1sh コマンドの実行に失敗する (6402666)

一部のロケールでは n1sh コマンドの実行に失敗し、次のエラーメッセージが表示されます。

```
The current encoding "locale-name" is not supported.
```

回避策: 管理サーバーの LANG と LC_ALL の各環境変数を UTF-8 (たとえば en_US.UTF-8) または en_US locale に変更します。

OS 選択画面のディレクトリ名と RIS サーバーの言語が異なる場合に Windows OS を配備できない (6400419)

RIS サーバーでは、RIS サーバーの OS 言語と同じ言語のパスにファイルがあると見なされます。RIS サーバーの OS 言語と同じではない Windows OS をプロビジョニングするには、追加の設定が必要です。

回避策: 他言語のファイルを英語のパスにコピーします。

1. OS 選択画面のファイルがあるディレクトリに移動します。

次に例を示します。

```
% cd RemoteInstall\OSChooser
```

2. 他言語のディレクトリから英語のディレクトリにファイルをコピーします。

次に例を示します。

```
% copy -r Japanese English
```

自国語のインストール画面を含む RemoteInstall\OSChooser\English ディレクトリが作成されます。インストール時に RIS ソフトウェアでデフォルトの英語のパス内が検索され、他言語の OS 選択画面が表示されます。

上記の回避策は、英語以外の Windows イメージを配備する英語版 RIS サーバー用です。英語以外の RIS サーバーを使用して英語版の Windows イメージを配備する場合は、次のように入力します。

```
% copy -r English <language>
```

Solaris 管理サーバーで n1sh コマンドに対して国際化機能がサポートされない (6297808)

デフォルトの Solaris 管理サーバーの Python バージョン (2.3) では、n1sh コマンドに対する国際化機能のサポートが十分ではありません。

回避策: Solaris 管理サーバーに Python 2.4 以降をインストールしてください。Python 実行可能ファイルは /usr/bin/python2.4 である必要があります。

ASCII 以外の文字を含むファームウェア名を持つ ALOM ファームウェアをインストールできない (6297238)

ALOM ファームウェアの名前が ASCII 以外の場合、load server コマンドはその ALOM ファームウェアのインストールに失敗します。

回避策: set firmware コマンドを使用して、ファームウェア名を ASCII に変更してください。

N1 System Manager が UTF-8 以外のロケールで動作している場合、ASCII 以外の文字を含むオブジェクトで文字が正しく表示されない (6231209)

N1 System Manager を次のいずれかの方法で起動すると、N1 System Manager を使って作成された ASCII 以外の文字を含むオブジェクトで文字が正しく表示されません。

- UTF8 以外のロケールで N1 System Manager を再起動する
- UTF-8 以外のロケールで管理サーバーを再起動する

回避策: 次の 2 通りの回避策があります。

- 一時的な回避策: LANG 環境変数を管理サーバーの UTF8 ロケールに設定し、N1 System Manager を再起動します。次に例を示します。
 - Solaris の管理サーバーの場合

```
# export LANG en_US.UTF-8
# sccadm restart n1sm
```

- Red Hat の管理サーバーの場合

```
# export LANG en_US.UTF-8
# /etc/init.d/n1sminit stop
# /etc/init.d/n1sminit start
```

- 恒久的な回避策:
 - Solaris の管理サーバーの場合
/etc/default/init ファイルをエディタで開き、LANG 値を en_US.UTF-8 に変更します。
 - Red Hat の管理サーバーの場合
/etc/sysconfig/i18n ファイルをエディタで開き、LANG 値を en_US.UTF-8 に変更します。

一部のインストール言語で **Solaris 10 OS** の配備中にタイムアウトが発生する (6178721)

特定のインストール言語が設定された OS プロファイルを使用して Solaris 10 OS を配備すると、インストールは対話型モードで実行され、メッセージが表示されたときに言語を選択する必要があります。言語を選択しなかった場合、OS 配備ジョブは最終的にタイムアウトになります。この問題は、次の言語で発生します。

- ja_JP.eucJP
- no_NO.ISO8859-1
- th_TH.TIS620
- ko_KR.UTF-8
- sh_BA.ISO8859-2
- zh_CN.EUC
- zh_CN.UTF-8

回避策: インストールは自動的に行われないため、サーバーのシリアルコンソールで配備を監視し、言語を選択する必要があります。ブラウザインタフェースの「アクション」メニューから「シリアルコンソール」を選択するか、connect server コマンドを使用できます。